



ゆうメール

新しい年度が始まりました。新しい出会いがたくさん生まれる季節だと思います。環境が変わって、新しい生活が始まった方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。私も、世田谷パブリックシアターの芸術監督に就任して一年が経ち、その間、世田谷の学芸事業の活動を通じて、多くの皆さんと接することができました。

そして、世田谷区の公共劇場として、パブリックシアターがどのような形で皆さんの心の拠り所になることができるかを考える、私にとっても新鮮な一年となりました。

さて、ようやく新型コロナの感染禍も収束する気配を見せています。この三年間の間に、私たちは多くのことを学んだ気がします。自分にとって大切なものとは何か。大切な時間、大切な人、大切な場所。改めて考える時間になったのではないのでしょうか？

22年度の学芸事業の締めくくりと言えるのが、3月19日にシアターラムで上演された「地域の物語」です。今回のテーマは「看取りをめぐる物語」。1月の下旬から、参加していただいた区民を中心とする皆さんとワークショップを重ねながら作品を作り上げました。まずは、参加者の家族や親近者との「別れの時間」の聞き取りから始まりました。参加者個人の体験は、それだけで一つの物語を持っています。その一つ一つをからだコースと、演劇コースという表現の形を分けて創作を重ね、そこから生み出された物語は、このメンバーでしか作りえない、唯一無二のものとなりました。「看取り」は誰にも必ず来る瞬間です。そして、いつかは誰しも「看取られる」側にもなります。この作品を通じて、やがてはやって来るその時まで、しっかり充実して生きようという勇気を、見に来てくださった皆様にお伝えできたように思います。

「地域の物語」は、自分たちの生活の中にある小さな感覚や感情を、他者とも分かち合うものです。この上演に参加してくださった方々も、見に来てくださった皆さんも、自分は一人で生きているわけではないことを確認し合うことができたと思います。そして、ひとりひとりの小さな物語は、やがて大きな一つの物語になっていくのです。

世田谷パブリックシアターの学芸事業は、今年度もさまざまな活動を展開してまいります。そこには、新しい出会いがたくさん待っていると思います。区民の皆さんと共に歩める劇場として、区民の皆さんから愛される劇場として頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井 晃

4月～5月のピックアップニュース 3月31日時点

*WS=ワークショップの略

子ども	4月23日(日)、5月27日(土)	『ごちゃまぜ演劇WS』	劇場で行う子ども対象WS
区民参加	4月5日(火)、5月21日(日)	『デイ・イン・ザ・シアター』	劇場で行う短時間の演劇WS
地域連携	5月24日(水)～26日(金)	「かなりゴキゲンなWS巡回団」芦花小学校1年生	学校での演劇WS
育成 専門家	4月22日(土)	演劇WSラボ「キックオフミーティング」	専門家育成

2023年1月～3月学芸事業一覧

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム
 地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門家教成 …… レクチャーや人材育成の取組

1月

- 7日(土) ● 『ごちゃまぜ演劇ワークショップ 1月のおおきなカルタ! 編』 子ども 13:00～17:00 (進行役:大西由紀子)
- 8日(日) ● 地域の物語2023ワークショップ『看取りをめぐる物語』 レポート (以下、「地域の物語」えんげきコース 1/16回目 区民参加) 13:00～18:00 (進行役:関根信一、花崎攝) テーマに関心をもって集まった人たちが、話し合いながら演劇をつくりあげ、シアタートラムで発表するプロジェクト。今回は「看取り」をテーマに据え、「えんげきコース」と「からだコース」に分かれて活動。「えんげきコース」は演劇づくりに加え、歌づくりに取り組んだ。
- 9日(月) ● 『デイ・イン・ザ・シアター』1日限りの「演劇&劇場」体験WS 区民参加 10:30～12:30 だれでもデイ/15:00～17:00 おとなデイ「演劇はじめ編」(進行役:とみやまあゆみ)
- 9日(月) ● 「地域の物語」からだコース 1/12回 区民参加 13:00～17:00 (進行役:山田珠実) 「からだコース」は、テーマの「看取り」に対して、言葉だけでなく、「からだ」からアプローチすることをメインに活動を行った。
- 13日(金) ● 「かなりゴキゲンなWS巡回団」(以下、「巡回団」) 烏山小学校2年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 14日(土) ● 「地域の物語」えんげきコース 2/16回目 13:00～18:00 区民参加
- 15日(日) ● 「地域の物語」からだコース 2/16回 13:00～17:00 区民参加
- 15日(日) ● 『舞台芸術のクリティック2022-23』4/5回目 区民参加 14:00～18:00 批評を書く①『対象作品自由』(講師:八角聡仁、森山直人)
- 17日(火) ● [演劇WSラボ] SPTラボラトリーレクチャー『演劇ワークショップと学校教育～20年を振り返る、そしてこれから～』⑤ 専門家教成 18:30～21:00 [「ワークショップ」出版から、大学で学び合う場を創るまで] (講師:中野民夫×聞き手:高尾隆)
- 18日(水) ● 「巡回団」烏山小学校2年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 19日(木) ● 「巡回団」京西小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 19日(木) ● 下馬地区アートプロジェクト『だれでも写真クラブ・極楽』13:00～16:00 (進行役:金川晋吾) 地域連携
- 19日(木) ● [演劇WSラボ・クラブ活動]「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」⑪ 専門家教成
- 20日(金) ● 「巡回団」上北沢小学校1年生 (進行役:青山公美嘉)、京西小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ)、烏山小学校2年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 21日(土) ● 「地域の物語」区民参加
- 22日(日) ● えんげきコース3・4/16回 13:00～18:00 からだコース3/12回 10:00～18:00
- 21日(土) ● [演劇WSラボ・クラブ活動]「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」⑫ 専門家教成
- 23日(月) ● 「巡回団」用賀小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 23日(月) ● 文化庁・ユニバーサル公演事業『ともにやの部屋～黒田真史さん～』 その他
- 24日(火) ● 世田谷区立明正小学校
- 24日(火) ● 「巡回団」弦巻小学校2年生 (進行役:すずきこーた)、ほっとスクール城山 (進行役:柏木陽)、用賀小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 25日(水) ● 「巡回団」上北沢小学校1年生 (進行役:青山公美嘉)、烏山小学校2年生 (進行役:大道朋奈)、桜小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 26日(木) ● 「巡回団」京西小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ)、桜小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 27日(金) ● 「巡回団」上北沢小学校1年生 (進行役:青山公美嘉)、京西小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ)、烏山小学校2年生 (進行役:大道朋奈) 地域連携
- 28日(土) ● 「地域の物語」からだコース 4/12回目 13:00～17:00 区民参加
- 29日(日) ● 「地域の物語」えんげきコース 5/16回目 13:00～18:00 区民参加
- 30日(月) ● 文化庁・ユニバーサル公演事業『ともにやの部屋～黒田真史さん～』長野県風越学園 その他
- 30日(月) ● 「巡回団」弦巻小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 31日(日) ● 「巡回団」上北沢小学校2年生 (進行役:すずきこーた)、烏山小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ)、武蔵丘小学校1年生 (進行役:富永圭一) 地域連携

10代から70代までの多世代の参加者が集まりました!シアターゲームでお互いのことを少し知った後に、「看取りの風景」を身体で表現したり、「看取ること」についての聞き書きを行いました。



からだの感覚に耳を傾けて、丁寧にストレッチをすることからはじめました。その後、参加者同士で知り合うゲームなどを行い、最後に「看取りってなんだろう?」というテーマで哲学対話を実施。「看取りというより見届けたという感じだった」「看取れなかったらどうすればいいの?」など、さまざまな話が共有されました。



受講者には事前に批評を提出してもらい、講師の先生方に読んでもらった上で当日を迎えました。まず、お一人ずつの批評を取り上げて講評していきます。講師の先生方が、受講者の皆さんの「読み」がより深まるような視点や問いを投げかけているところが印象的でした。受講者からも様々な発言があり、同じ作品を見た人が感想を共有したり、違う解釈を提案したりと、受講者同士の対話も大変盛り上がりしました。

シリーズ締めくくりとなる今回は、東京工業大学の黒田真史さんをお招きしました。企業・自然・教育 etc と多岐に渡るフィールドでWSを実践してきた黒田さんが、大学で学び合う場を創るまでの20年間を、聞き手の高尾さんと対話や歌を交えて辿った時間となりました。



『森美術館 お出かけ編』と題し、進行役の写真家・金川晋吾さんの展示を見にでかけました。向かう道中や館内の撮影可能なスペースで、参加者がスマートフォンで撮影。「普段見る機会のない展示を見て面白い」「撮影しあうのが、少し恥ずかしいけど楽しい」という声がありました。2月の『写真クラブ』でそれぞれの写真を見合いました。

3月

- 11日(土) ● 「地域の物語」えんげきコース 7・8/16回目 13:00～18:00 区民参加
- 12日(日) ● 「巡回団」八幡小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 13日(月) ● 「巡回団」三軒茶屋小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 14日(火) ● 「巡回団」烏山小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携
- 15日(水) ● 「巡回団」烏山小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ)、弦巻小学校1年生 (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 16日(木) ● 下馬地区アートプロジェクト『だれでも写真クラブ・極楽』14:00～16:00 (進行役:金川晋吾) 地域連携
- 17日(金) ● 「巡回団」弦巻小学校1年生 (進行役:青山公美嘉)、三軒茶屋小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 17日(金) ● [演劇WSラボ・クラブ活動]「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」⑬ 専門家教成
- 18日(土) ● 「地域の物語」からだコース 6/12回目 13:00～17:00 区民参加
- 18日(土) ● 「巡回団」尾山台小学校1年生 (進行役:青山公美嘉、大道朋奈、とみやまあゆみ) 地域連携
- 19日(日) ● 「地域の物語」えんげきコース 9/16回目 13:00～18:00 区民参加
- 19日(日) ● 『舞台芸術のクリティック2022-23』5/5回目 区民参加 14:00～18:00 批評を書く②『対象作品自由』(講師:八角聡仁、高橋宏幸) レポート
- 19日(日) ● 世田谷パブリックシアター×玉川地域社会福祉協議会事務所 共催企画「大学生演劇ボランティア」1/2回目 10:00～17:00 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 20日(月) ● 「大学生演劇ボランティア」劇団「新風」玉川巡回公演(用賀まちづくりセンター) 2/2回目 10:00～11:30/14:00～15:30 地域連携 社会福祉協議会の3つの事業を地域住民に分かりやすく伝えるために、劇場と玉川地域社会福祉協議会が立ち上げた企画。年度初めに募集した「大学生演劇ボランティア」が集団創作し、10月に等々力まちづくりセンターで発表して好評を得た作品の再演となる。
- 20日(月) ● 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー22 関かおり』 地域連携 19:00～20:30トーク (講師:関かおり)
- 21日(火) ● 「巡回団」用賀小学校2年生 (進行役:とみやまあゆみ) 地域連携 世田谷区内の小中学校の授業時間に実施する演劇WS。学校の目標に合わせたプランニングを行う。用賀小学校では、「交流や表現活動を楽しむ」という目的のもと、12月～2月に月1回訪問し、全3回のWSを行った。1回目はクラスメイトとの関係づくり、2回目は教科「日本語」の単元「登場人物になりきってみよう」に取り組み、最後は「ももたろう」をクラス全体でつくりあげた。
- 20日(月) ● 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー22 関かおり』 区民参加 19:00～20:30トーク (講師:関かおり)
- 20日(月) ● [演劇WSラボ・クラブ活動]「おやこフシギ発見クラブ」⑭ 専門家教成
- 22日(水) ● 「巡回団」武蔵丘小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 23日(木) ● 「地域の物語」えんげきコース 10/16回目 13:00～18:00 区民参加
- 24日(金) ● 『デイ・イン・ザ・シアター』1日限りの「演劇&劇場」体験WS 区民参加 15:30～17:30/19:00～21:00 だれでもデイ『なんちゃってフラダンス編』(進行役:青山公美嘉)
- 24日(金) ● 「巡回団」武蔵丘小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 25日(土) ● 『ごちゃまぜ演劇ワークショップ 2月の世界でいちばん有名な演劇をつくろう! 編』 13:00～17:00 (進行役:南波圭) 子ども
- 26日(日) ● 「地域の物語」からだコース 7/12回目 13:00～17:00 区民参加
- 27日(月) ● [演劇WSラボ・クラブ活動]「グリーンケアクラブ」⑩ 専門家教成

- 2日(木) ● [演劇WSラボ] SPTラボラトリーレクチャー『アートとヘルス～イギリス、アメリカ、そして日本では～』1/2回目 18:30～20:30 (講師:中野詩) 専門家教成
- 4日(土) ● 「地域の物語」からだコース 8/12回 10:00～18:00 区民参加
- 4日(土) ● 「地域の物語」えんげきコース 11・12/16回 10:00～18:00 区民参加
- 5日(日) ● 「巡回団」世田谷小学校1年生 (進行役:柏木陽) 地域連携
- 11日(土) ● 「地域の物語」区民参加
- 12日(日) ● えんげきコース13・14/16回 13:00～17:00 からだコース9・10/12回 10:00～18:00
- 17日(土) ● 「地域の物語」区民参加 えんげきコース15・16/16回 19:00～21:00/10:00～21:00
- 18日(日) ● からだコース11・12/12回 19:00～21:00/10:00～21:00
- 19日(日) ● 地域の物語2023『看取りをめぐる物語』演劇発表会 15:00 区民参加
- 21日(水) ● 『世田谷パブリックシアター中学生演劇部』(3月) 子ども 10:00～12:00「からだをつかって楽しもう!」(進行役:楠原竜也)
- 25日(土) ● [演劇WSラボ] SPTラボラトリーレクチャー『アートとヘルス～イギリス、アメリカ、そして日本では～』2/2回目 13:30～15:30 (講師:西原瑛) 専門家教成
- 26日(日) ● 『世田谷パブリックシアター ダンス食堂 メニュー22 関かおり』 区民参加 14:00～16:00 ワークショップ (進行役:関かおり)
- 27日(月) ● 『デイ・イン・ザ・シアター』1日限りの「演劇&劇場」体験WS 区民参加 15:00～17:00/19:00～21:00 だれでもデイ『でででであい編』(進行役:大道朋奈)
- 29日(水) ● 『ごちゃまぜ演劇ワークショップ 3月の歌会編』 13:00～17:00 (進行役:柏木陽) 子ども

見いらした方々は、最初、何が起るかとか緊張した様子でしたが、大学生の明るく澆刺とした雰囲気、次第に表情もほぐれ、劇中で歌が披露されると手拍子で参加してくれました。終演後も、大学生と会話を楽しまれたり、感想を伝えてくれたりといった交流も生まれていました。



はじめは固い表情をしていた子ども達でしたが、徐々に身体で表現することに慣れ、友達との相談もうまくなり、最後にはパワフルな「ももたろう」を披露してくれました!学校公開日となっていたため、保護者の皆さんもご覧になり、「アイデアを出し合いながら全身でユニークに表現していて感動した」「生き生きした演技が見られて嬉しかった」などの声をいただきました。

講師の中野詩さんがイギリスでリサーチしてきた経験のお話を中心に、アートが医療の一つとして処方されるイギリスの「社会的処方」の仕組みについて、また日本での「社会的処方」の広がりについて聞くことができました。今後日本でアートとヘルスがどのような関わりを持って展開されるのか考える機会になりました。



相手の身体の動きや緩急、質感を感じ取って、自分の身体で応答するワークを積み重ね、身体でコミュニケーションをとることにみっちり取り組みました。2時間動き続けた中学生たちは、「つかれた!」と声をあげながらも、晴ればれとした様子でした。



柔らかいものを踏んでいるように歩く、水の中のように動くなど、想像しながら身体感覚をときませ、その感覚を持ったまま他者と関わって身体を動かすことで、自分や他者の身体を発見して楽しむWSとなりました。



2月

- 1日(水) ● 「巡回団」上北沢小学校2年生 (進行役:すずきこーた)、烏山小学校2年生 (進行役:大道朋奈)、弦巻小学校1年生 (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 2日(木) ● 「巡回団」烏山小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ)、桜小学校2年生 (進行役:すずきこーた)、武蔵丘小学校2年生 (進行役:富永圭一) 地域連携
- 3日(金) ● 「巡回団」桜小学校2年生 (進行役:すずきこーた)、弦巻小学校1年生 (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 4日(土) ● 「地域の物語」えんげきコース 6/16回目 13:00～18:00 区民参加
- 5日(日) ● 「地域の物語」からだコース 5/12回目 13:00～17:00 区民参加
- 7日(火) ● 「巡回団」上北沢小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 8日(水) ● 「巡回団」上北沢小学校2年生 (進行役:すずきこーた)、烏山小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ)、弦巻小学校1年生 (進行役:青山公美嘉) 地域連携
- 8日(水) ● 『ともにやの部屋～黒田真史さん～』ほっとスクール希望丘 地域連携
- 9日(木) ● 「巡回団」上北沢小学校1年生 (進行役:青山公美嘉)、烏山小学校1年生 (進行役:とみやまあゆみ)、三軒茶屋小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携
- 10日(金) ● 「巡回団」弦巻小学校1年生 (進行役:青山公美嘉)、八幡小学校2年生 (進行役:すずきこーた) 地域連携

レポート



地域の物語2023

『看取りをめぐる物語』演劇発表会

WS日程：「えんげきコース」2023年1月8日(日)、14日(土)、21日(土)、22日(日)、29日(日)、2月4日(土)、11日(土・祝)、12日(日)、19日(日)、23日(木・祝)、3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、17日(金)、18日(土) [全16回] / 「からだコース」2023年1月9日(月・祝)・15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、2月5日(日)、18日(土)、26日(日)、3月4日(土)、11日(土)、12日(日)、17日(金)、18日(土) [全12回]

進行役：「えんげきコース」関根信一、花崎攝 / 「からだコース」山田珠実 演劇発表会日時：2023年3月19日(日)15時 会場：シアタートラム

入場者数：250人 出演：「えんげきコース」参加者15人 / 「からだコース」参加者10人

「地域の物語」は、設定されたテーマに関心を持って集まって下さった方たちが、3カ月にわたるワークショップを通じて、自分たちの経験をもとに話し合いながら演劇をつくり、シアタートラムで発表するプロジェクトです。今年のテーマは「看取り」でした。「看取り」というと、亡くなるその「時」、その「瞬間」の立ち合いを想像することが多いかと思いますが、今回は、死にゆく人と自分の関係性を考え、その人にどう向き合うか考えながら時を過ごすことも、広く「看取り」と捉えることから始めました。

「からだコース」では、お互いを知ること、遺された物について互いに聞き合うことからスタート。毎回からだエクササイズを行いながら、自分自身が「看取り」に向き合った経験で気になっていること／課題を各々決めました。気づいたことをテキスト化し、みんなの前で発表してまた書き直すということを繰り返す中、自分のからだの反応などにも丁寧に向き合いながら、作品にまとめていきました。

「えんげきコース」では、歌うことを新たな試みとして企画しました。参加者一人ひとりが看取りの短い詩を書き、それぞれの詩から、コースのテーマソングとしての合同詩を創作。その詩や、個々人の体験からなる看取りにまつわる詩に石ヶ森さんには音楽を付けていただきました。それ以外にも参加者オリジナルのラップやシャンソンなどの曲も盛り込まれ、看取って残された人たちの「生」が、音楽で感じられるような作品になっていきました。

家族のありようや、働き方、価値観が多様化する中、どこで、誰と／ひとりで、どのように人生を送り、どのように老いていくか、どのように死を迎え、看取っていくのか「看取り」において、もはや一つの正解はありません。3月19日に参加者たちが発表した『看取りの物語』は、そんな多様性を示すものであり、また、その多様さが観客の方たちにとっての物語とリンクするものになっていたと思います。2つの作品を発表した後は、恒例のアフタートークと、希望される観客の方たちとの稽古場での座談会を行い、観客の方たちと参加者がいろいろな考えや思いを共に巡らせる時間を過ごしました。



レポート



『舞台芸術のクリティック2022-23』

日程：2022年11月6日(日)、20日(日)、12月17日(土)、2023年1月15日(日)、2月19日(日)

会場：世田谷文化生活情報センターセミナールーム、世田谷パブリックシアター稽古場 講師：八角聡仁、森山直人、高橋宏幸 受講者数：20人

舞台芸術の批評を実践する『舞台芸術のクリティック』は、97年の劇場開館以来、2020年、21年とコロナ禍による中止を除くと、毎年実施してきた講座です。これまで少しずつ形をかえながら開催してきましたが、近年は、批評の視点を獲得するためのレクチャー「舞台を読む」パートと、受講者が実際に批評を書いて講師が講評を行い、そこから出てきたトピック等についてディスカッションする「批評を書く」パートとで構成しています。

「批評」という堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、ですが、この講座では、「批評」を、「だれかの表現に触れて感じたこと、考えたことをまた別の他者に伝えるために表現すること」と捉えています。決して特別ではなく、多くの人々が日々の生活の中で行っていることです。しかし一方で、「批評」は独り言ではなく、伝えたい「他者」、受け止める「他者」がいて、成り立つ営みでもあります。

この講座の大きな目的は、「批評」を真ん中において、人々が対話し、交流する場をつくることにあります。一人ひとりが「批評」という形で表現すること、一人ひとりの「批評」を受け止めること。そのことを通じて、自分を見出していくとともに、舞台芸術についての多くの発見を得たり視野を広げたりする機会を提供できればと考えています。

今年度の『舞台芸術のクリティック』も、批評を通じた参加者同士のディスカッションが盛んにおこなわれました。この講座には、毎回さまざまな背景をもった方たちが参加くださいます。見ている演劇もばらばらで、古典芸能や商業演劇、小劇場演劇、ミュージカル、ダンス等、実に多様な舞台が挙げられます。SNSの普及によって同じ関心を持つ人との出会いの場が多い昨今、ばらばらな人たちがそれぞれの観劇体験を語り合うことができる場はとても貴重です。受講者の皆さんからは、「同じ作品を見ても違うことを見ていたり、違う感じ方をしていたりするの面白い」「全く名前も知らない作品を知って興味が湧く」といった感想が寄せられます。これからもこの場を開き続けていきたいと思っています。

